

二四〇三番

玉たまくせの 清きよき川原かはらに みそぎして 齋いはふ命いのちも
妹いもがためこそ

二四〇四番

思おもひ寄より 見み寄よりて物ものは あるものを 一ひと日ひの間あひだ
も 忘わすれて思おもへや

二四〇五番

垣かきほなす 人ひとは言いへども 高麗錦こまだしき 紐解ひもとき開あけし
君きみならなくに

二四〇六番

高麗錦こまだしき 紐解ひもとき開あけて 夕ゆふだに 知しらざる命いのち
恋こひつつかあらむ